

(3) 天気率

1986年1月から12月まで八重山支場内で観測した定時（09：00）の天気による天気率を算定した。

結果は毎月のものを図9に、1年間の合計を図10に示した。

晴れの最高出現月は7月で、その率は77.4%であり、次位は8月で64.5%であった。晴率が50%を越えた月は7月と8月であった。

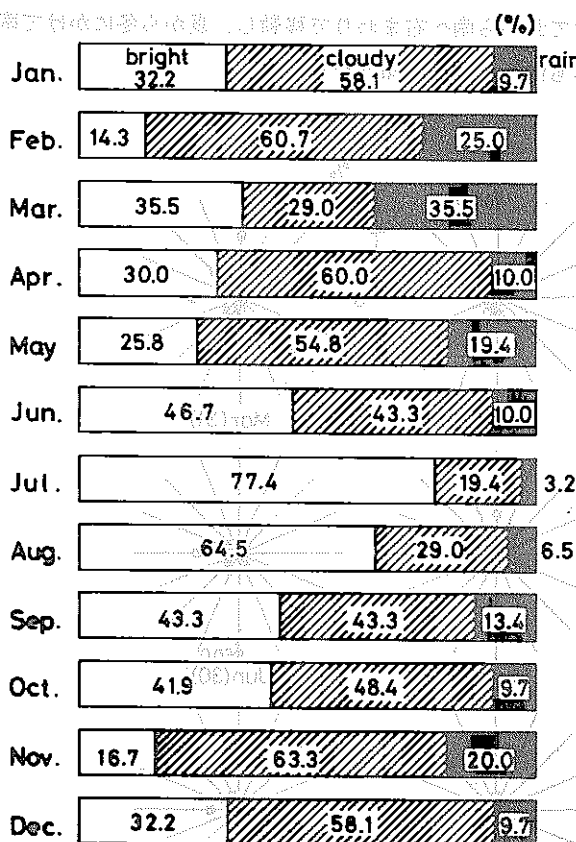


図9 石垣島・川平における定時（09：00）の月別天気率（1986.1～12月）

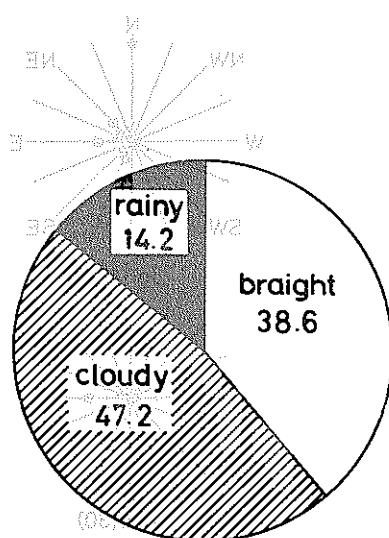


図10 石垣島・川平における定時（09：00）の1年間の天気率（1986.1～12月）
（観測日数：365日）

曇りの最高出現月は11月で、その率は63.3%であった。曇りの率が50%を越えた月は1月、2月と4月、5月そして11月、12月であった。雨は3月の35.5%が最高で、次位は2月の25.0%であった。5月の梅雨を除いては冬期に多い傾向にあった。この傾向は例年と同様であり、フィリピンでの雨期と一部気候的に一致するところがある。

年間の晴率は38.6%、曇りは47.2%、そして雨の率は14.2%であった。

(4) 風 向

1986年1月から12月までの風向を定時（09：00）に天気と同時に観測した。

結果は月別と年間の風向率として図11と図12に示した。

月別で率が最も高い風向は1月～3月までが北であり、4月は南、5月は東、6月、7月が再び南である。そして8月は東、9月は北、10月と11月が東、12月が北である。8月は台風の影響を受けて、北東風もよく吹いた。北風が吹かなかった月は6月のみであり、逆に南風が吹かなかった月は1月、11月、12月であった。また西からの風は例年通り非常に少なかった。北風の最高出現率は2月の64.3%であり、南風のそれは6月の60.0%であった。年間でよく吹いた風の順は、北風が23.9%で1位であり、次位は東風と南風が22.5%で同率であった。次々位は北東風の14.5%であった。

石垣島・川平では風向は冬から夏にかけて北から南へ右まわりで移動し、夏から冬にかけて南から北へ左まわりで移動するが、1986年も例年と同様の傾向を示した。

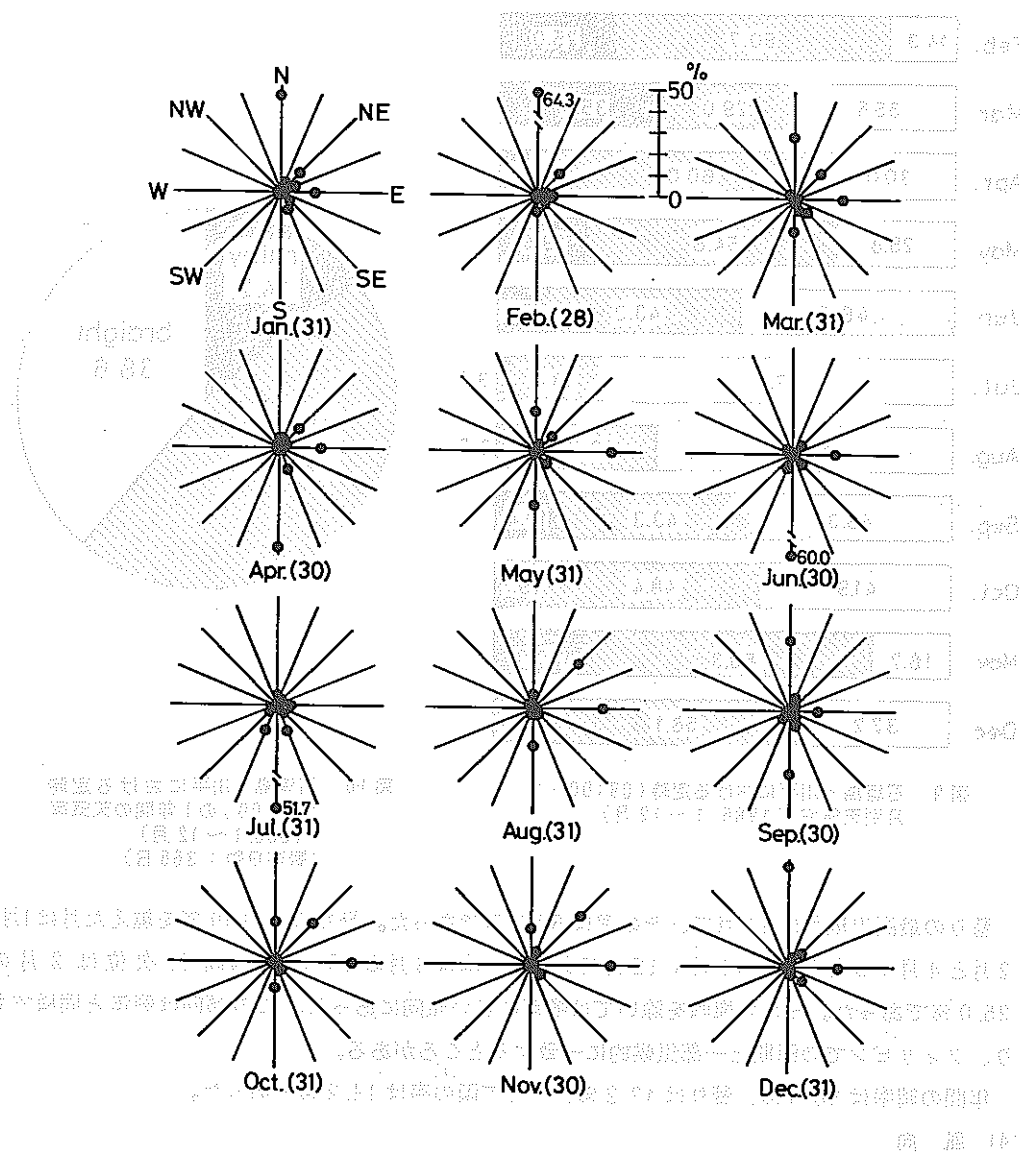


図 11 石垣島・川平における定時(09:00)の月別風向率(1986.1~12)

() : 観測日数